

SABO NEWS LETTER

第98号【発行日】平成21年6月11日(木)【発行】(社)全国治水砂防協会

目 次

- 1 . 目次・行事予定 1
- 2 . (社)全国治水砂防協会 前理事長より退任のご挨拶 2
- 3 . (社)全国治水砂防協会 新理事長より就任のご挨拶 3
- 4 . 平成21年度 第27回 土砂災害防止推進の集い(全国大会) 4

行 事 予 定

(全国治水砂防協会)

7/8 東海ブロック市町村職員土砂災害対策研修会(三重県津市)

7/22 理事・顧問会議(砂防会館別館 霧島会議室)

ご質問、ご意見、ご感想、記事の詳細内容等、お問合せ先

社団法人 全国治水砂防協会

担当：野間

住所：〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-5 砂防会館内

電話：03-3261-8386 FAX：03-3261-5449 E-mail：kyokai@sabo.or.jp

砂防に関する最新情報は砂防協会ホームページをご覧ください。

<http://www.sabo.or.jp/>

退任のご挨拶

この度、理事長を退任いたしました。平成11年以来10年間にわたり砂防協会の運営や砂防の促進のための仕事に携わらせていただきました。多くの会員の皆様や関係の皆様を支えられて仕事をすることができましたこと心より御礼申し上げます。有難うございました。

砂防協会は砂防の促進のため様々な仕事をするのですが、地域の住民の安全を最重要に考え、住民の意志・意見・願望を体して仕事をされる市町村長さん方がどのように砂防に期待し、どのように砂防を進めるべきと考えているのか、そしてそれをどのように具現化されようとしているのかといったことをお聞きし、行政に提言し、行政に取り入れていただくことを砂防協会の大事な役割と考えています。支部総会や支部長会議などの機会に市町村長さん方の意見をお聞きし、対話し、ということが続けさせていただきました。首長さん方のご意見は砂防行政を進める上で貴重なものでしたし、新たな施策を生み出す力にもなりました。地域に立脚した、地に足の着いた砂防を進めていくのに大きな力になっています。

平成16年の三位一体改革の議論の中で、補助砂防事業の廃止・地方への移管が取り上げられましたが、この時の市町村長さん方の意見、意思がこの危機を救い、補助砂防事業という形態が引き続き実施されることとなりました。

ただひたすら市町村長さんとの会話を考えてきましたが、会員の市町村長さん、参与の皆様、関係機関のご理解やご支援、そして協会のメンバーなどの支えで続けることができました。特に市町村長さんが気持ちよく様々な機会に参加していただき意見を言っていたいただき、常に真剣に砂防のことを考えてくれているということが大変ありがたいことでした。

砂防協会の役割、仕事は公益的な事業を活発に展開することや、砂防会館の適切な管理・運営など多様であります。このような仕事はすべて砂防協会の設立理念であります「地域の意見を聴き地域のためになる砂防事業を推進させる。このことによって地域の安全など公共の福祉に寄与する」お手伝いをすることに集約されます。

後任の岡本正男理事長はじめ砂防協会の職員によって砂防協会がさらに的確に運営されていくことになりましたが、皆様のご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

皆様から頂きましたご厚誼ご指導、ご支援に厚く御礼申し上げます退任の御挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

なお、今後は相談役（非常勤）として砂防協会でお手伝いをさせていただくことになりました。どれほどのことができるか不安ではありますが、微力を尽くしていきたいと思っています。砂防協会のために仕事ができること、この上もなく幸せにと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ご挨拶

このたび、大久保前理事長の後任として理事長を拝命いたしました。

砂防協会は、昭和10年任意団体として発足、昭和15年には社団法人として設立されました。爾来、会員の皆様とともに、砂防関係事業の促進を通して、災害の軽減を図り、安全で豊かな社会の形成を目的に活動を行ってきました。そして、昨今の気象状況から見られるように、激しい土砂災害が多発している環境下においては、本協会の担い果たす役割は益々大きくなると思います。

設立の理念「砂防事業を理解する国民の力を結集し、世論を喚起し、砂防事業の発展に邁進する」ため、会長をはじめ役員の皆様、会員の市町村の皆様、そして都道府県の各支部及び参与の皆様とともに、微力ではありますが、努力に努力を重ねて参りたいと思います。

どうぞ、よろしくご指導・ご支援をお願い申し上げます。

平成21年6月1日

社団法人 全国治水砂防協会理事長 岡本正男

SABO NEWS LETTER 4頁

平成 21 年度 第 27 回 土砂災害防止推進の集い（全国大会）

6 月 2 日（火）に山梨県甲府市「山梨県立県民文化ホール」において「人は石垣、人は城 「風林火山」の防災」をテーマに開催し、全国から約 1,100 名の参加がありました。

第一部の式典では、春田謙 国土交通事務次官による主催者挨拶、横内正明 山梨県知事による開催地挨拶が行われました。

来賓者に、宮島雅展 甲府市長（代理）、森屋宏 山梨県議会議長、久保眞一 市川三郷町長（山梨県砂防協会会長）、辻一幸 早川町長（富士川水系砂防工事促進期成同盟会副会長）が紹介されました。

続いて土砂災害防止功労者表彰式が行われ、1 個人 7 団体が表彰されました（別紙）。



主催者挨拶（春田国土交通事務次官）

第二部では、「^{につかわ}日川砂防工事がもたらしたぶどうとワインの郷」と題し、甲州市教育委員会生涯学習課課長補佐の室伏徹氏による特別講演が行われました。

甲州ワインで有名な勝沼のぶどう畑は昔からあったわけではなく、明治 40 年代に日川流域が大災害を受け、直轄砂防工事として日川水制群を施工したことに由来します。それまで日川沿川には桑畑が多くを占めていました。日川水制群をはじめとする砂防施設の設置は、安定した水はけの良い土地を作り出し、結果としてぶどう栽培に適した土地になりました。このことが、一気にぶどう畑を広げるきっかけになったということです。しかし、現在では砂防施設はぶどう畑と一体となってしまう、その存在すら意識させないまでになっています。言い換えれば、砂防の存在を忘れさせるほど流域には災害が無く、大変安定したものになっていることであり、砂防の究極の目標かもしれないという話は、まさに、災害を乗り越え地域の礎をつくったのは砂防であると再認識させられる内容でした。

（次頁へ続く）

SABO NEWS LETTER 5頁

第三部のシンポジウムでは、コーディネーターに NHK 解説副委員長の山崎登氏を、パネリストには山梨県丹波山村長の岡部政幸氏、根場民宿共同組合理事長の渡辺秀樹氏、山梨県南アルプス市社会福祉協議会総務課長の斉藤節子氏、山梨大学大学院医学工学総合研究部准教授の後藤聡氏を、そしてコメンテーターに中野泰雄 国土交通省砂防部長の計 6 名により進行されました。本大会のテーマは地元甲州の先人、武田信玄にちなんで、「人は石垣、人は城 - 「風林火山」の防災 - 」をテーマとし、【風】非常時の判断・行動、【林】平常時の備え、【火】災害と砂防の歴史、【山】災害に強い地域づくりと解釈し、明治 40 年災・昭和 34 年災・昭和 57 年災等の災害史と地域を守る砂防施設の歴史や砂防が地域づくりの礎になってきたことなどが語られました。



シンポジウムの様子

翌 3 日（水）には、釜無川・御勅使川沿い遺跡群と直轄砂防事業（A コース）、足和田災害被災地跡（B コース）に分かれ現地研修会が実施されました。

また、土砂災害防止推進の集い（全国大会）の関連行事として、平成 21 年度「砂防工事関係現場代理人の会」全国大会、平成 21 年度「砂防ボランティア全国の集い」が併せて開催され、全国から多数参加されました。

平成21年度 土砂災害防止功労者国土交通大臣表彰

【個人】

表彰者名	推薦団体	功績概要
故 藤川 卓爾	北陸地方整備局	氏は、永年にわたり常願寺川の直轄砂防工事に従事している砂防関係者の健康管理と医療活動を通して砂防事業の推進に尽力された。

【団体】

表彰者名	推薦団体	功績概要
砂防ボランティア岩手県協会	岩手県	本団体は、平成20年6月14日の「平成20年岩手・宮城内陸地震」及び同年7月24日の岩手県沿岸北部を震源とする地震発生直後から、二次災害防止のための土砂災害危険箇所等の緊急点検に参加するなど、土砂災害の防止に尽力された。
社団法人 岩手県建設業協会一関支部	岩手県	本団体は、平成20年6月14日に発生した「平成20年岩手・宮城内陸地震」に際し、被災直後から被災状況の確認をするとともに土砂崩壊に伴う天然ダム決壊等による被害の防止のため、昼夜を問わず緊急対策に尽力された。
社団法人 宮城県建設業協会栗原支部	宮城県	本団体は、平成20年6月14日に発生した「平成20年岩手・宮城内陸地震」に際し、被災状況の確認をするとともに通行の確保や孤立集落の解消等を図るため、昼夜を問わず復旧工事に尽力された。
万内川砂防公園ファン倶楽部	新潟県	本団体は、永年にわたり大正末期から築造されてきた土砂災害防止施設の保全活動や地域一丸となって砂防事業の啓発活動に尽力された。
平 地域行政推進員協議会 杉尾地区	富山県	本団体は、平成20年7月28日の集中豪雨による土砂災害発生に際し、地区住民の避難誘導等に速やかに取り組み危険を顧みず身を挺して地域住民の生命及び身体の保護に尽力された。
鰯沢上北町自主防災会	山梨県	本団体は、自主防災活動の重要性を認識し、さまざまな訓練を行うとともに、他の自主防災会にも広げていくなど地域の土砂災害防止意識の向上に尽力された。
NPO法人森と水辺を育てる会	静岡県	本団体は、永年にわたり静岡市都市山麓グリーンベルト事業への協力により、土砂災害に強い里山づくりを目指した活動を行い、土砂災害の防止及び土砂災害防止思想の普及に尽力された。